

病防第84号
平成28年10月5日

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察注意報について（送付）

このことについて、平成28年度病害虫発生予察注意報第2号を公表しましたので、送付します。

注 意 報

平成28年度病害虫発生予察注意報第2号

農作物名	トマト
病害虫名	トマト黄化葉巻病
病原ウイルス	トマト黄化葉巻ウイルス Tomato yellow leaf curl virus ; TYLCV
媒介昆虫	タバココナジラミ

- 1 発生地域 冬春トマト栽培地域
- 2 発生時期 定植期以降
- 3 発生程度 多
- 4 注意報発表の根拠
 - 1) 9月2～9日、県内3地域に設置したトマト苗から採集したタバココナジラミについて、トマト黄化葉巻ウイルス(TYLCV)の保毒状況を調査した。その結果、TYLCV保毒率は、熊本市が6.7%(平成27年2.1%)、玉名市が6.7%(平成27年4.1%)、八代市が5.0%(平成27年1.0%)でいずれの地域も平成27年に比べ高かった(表1)。
 - 2) 屋外に設置した黄色粘着板トラップの9月5～9日の1日当たりコナジラミ類捕獲頭数は、熊本市が0.7頭(平成27年1.3頭)で平成27年並み、玉名市が8.1頭(平成27年1.5頭)、八代市が1.7頭(平成27年0.5頭)で平成27年より多かった(表2)。
 - 3) 感染リスクの指標である1日当たり屋外保毒虫数(保毒率×1日当たり捕獲頭数)は、熊本市が0.04頭(平成27年0.07頭)で平成27年並み、玉名市が0.54頭(平成27年0.08頭)、八代市が0.09頭(平成27年0.00頭)で平成27年より多かった(表3)。
 - 4) 9月第2半旬～第5半旬に八代市の屋外に設置した黄色粘着板トラップの1日当たりコナジラミ類捕獲頭数は、平成27年よりも多く推移した(図1)。また、9月中旬の冬春トマト巡回調査におけるタバココナジラミの寄生葉率(上位葉および中位葉)も、平成27年より高かった(図2)。
 - 5) 以上の調査結果から、本年、生育初期のトマトが黄化葉巻ウイルスに感染するリスクは、多くの地域で平成27年に比べ高い。また、すでに定植を終えた地域のほ場ではハウス内への媒介虫の侵入も多いことから、本病害の多発生が懸念されます。
- 5 防除上注意すべき事項
トマト黄化葉巻ウイルスに感染したトマトを治療する方法はない。感染を防ぐために以下の対策を徹底する。
 - 1) ハウスの開口部(サイド、谷部など)には目合い0.4mm以下の防虫ネットを設置する。すでに設置しているハウスについては、隙間等がないか再度点検し、必要に応じて補修する。

- 2) ハウス内に黄色粘着板トラップを設置し、コナジラミ類の早期発見に努める。
- 3) 育苗期後半にタバココナジラミに登録のある薬剤を施用する。また、野外から飛び込んだ保毒虫をハウス内で定着させないため、飛び込みが無くなる時期（10月下旬～11月中旬）にコルト顆粒水和剤でリセット防除を行う（別紙）。
（注意：農薬使用にあたっては、使用方法、使用時期、総使用回数等を厳守する。）
- 4) ハウス内の発病株は伝染源となる。見つけしだい直ちに抜き取り、施設外に持ち出し適正に処分する。
- 5) 抵抗性品種であっても伝染源となるため、感受性品種と同様に防除を行う。
- 6) ハウス周辺及び内部の雑草は、タバココナジラミの生息・増殖場所となる。栽培期間中は定期的に除草する。
- 7) 野良生えトマトは、重要な伝染源となるので、抜き取り土中に埋める等適正に処分する。
- 8) 台風対策でビニル・防虫ネットを除去した場合は、通過後速やかに現状復帰する。また、作業後に薬剤防除を行い、ハウス内にコナジラミ類が定着しないようにする。

表1 屋外で採集したタバココナジラミのトマト黄化葉巻ウイルス保毒状況

地点名	保毒率 (%)						平年値
	本年	H27	H26	H25	H24	H23	
熊本市	6.7 (60)	-	5.4	2.8	0.0	0.0	2.1
玉名市	6.7 (60)	4.2	12.5	4.0	0.0	0.0	4.1
八代市	5.0 (20)	-	-	3.1	0.0	0.0	1.0

注) 採集時期は9月上旬。

()内の数値は本年の検定数。平成27年以前の検定数は20～56頭。

平年値は平成23年から平成27年のうち、欠測年を除く3～5カ年平均。

表2 屋外コナジラミ類の捕獲頭数

地点名	日あたり捕獲頭数 (頭/日/枚)						平年値
	本年	H27	H26	H25	H24	H23	
熊本市	0.67	0.17	4.81	0.88	0.47	0.32	1.33
玉名市	8.09	0.43	2.24	1.99	1.67	0.93	1.45
八代市	1.73	0	0.05	0.15	1.83	0.30	0.47

注) 捕獲期間は9月5～9日。

黄色粘着板(10cm×10cm)は1地点あたり3～12枚設置。

平年値は平成23年から平成27年の5カ年平均。

表3 屋外保毒虫数の試算

地点名	日あたり保毒虫数 (頭/日/枚)						平年値
	本年	H27	H26	H25	H24	H23	
熊本市	0.04	-	0.26	0.02	0	0	0.07
玉名市	0.54	0.02	0.28	0.08	0	0	0.08
八代市	0.09	-	-	0.00	0	0	0.00

注) 保毒虫数＝捕獲頭数(表2)×保毒率(表1)

平年値は平成23年から平成27年のうち、欠測年を除く3～5カ年平均。

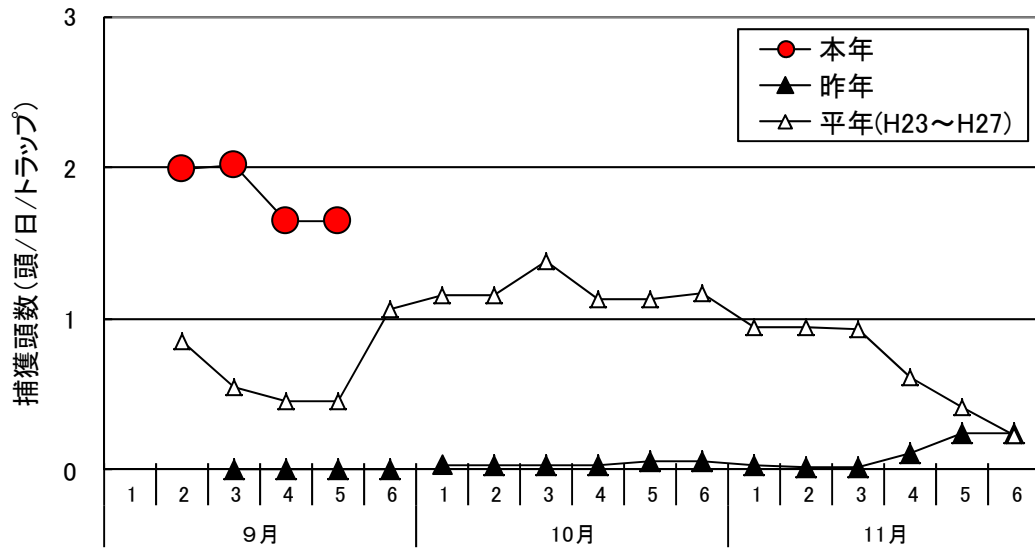


図1 八代地域における野外コナジラミ類の半旬別捕獲頭数の推移

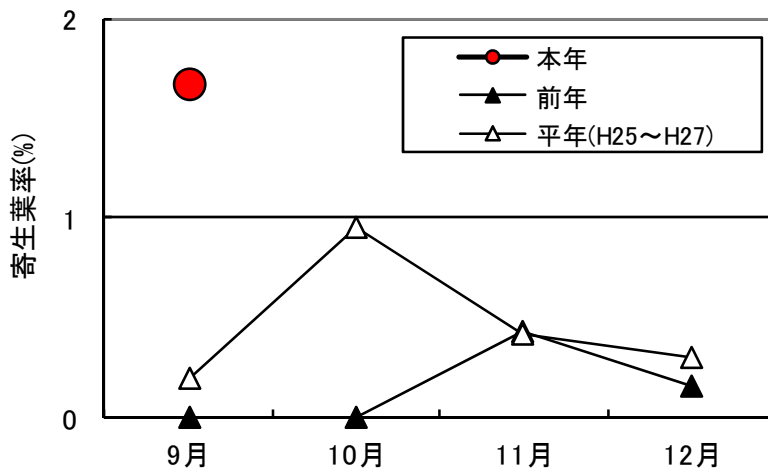


図2 巡回調査地点におけるタバココナジラミ寄生状況(八代市)

注) 本年は9月13日調査

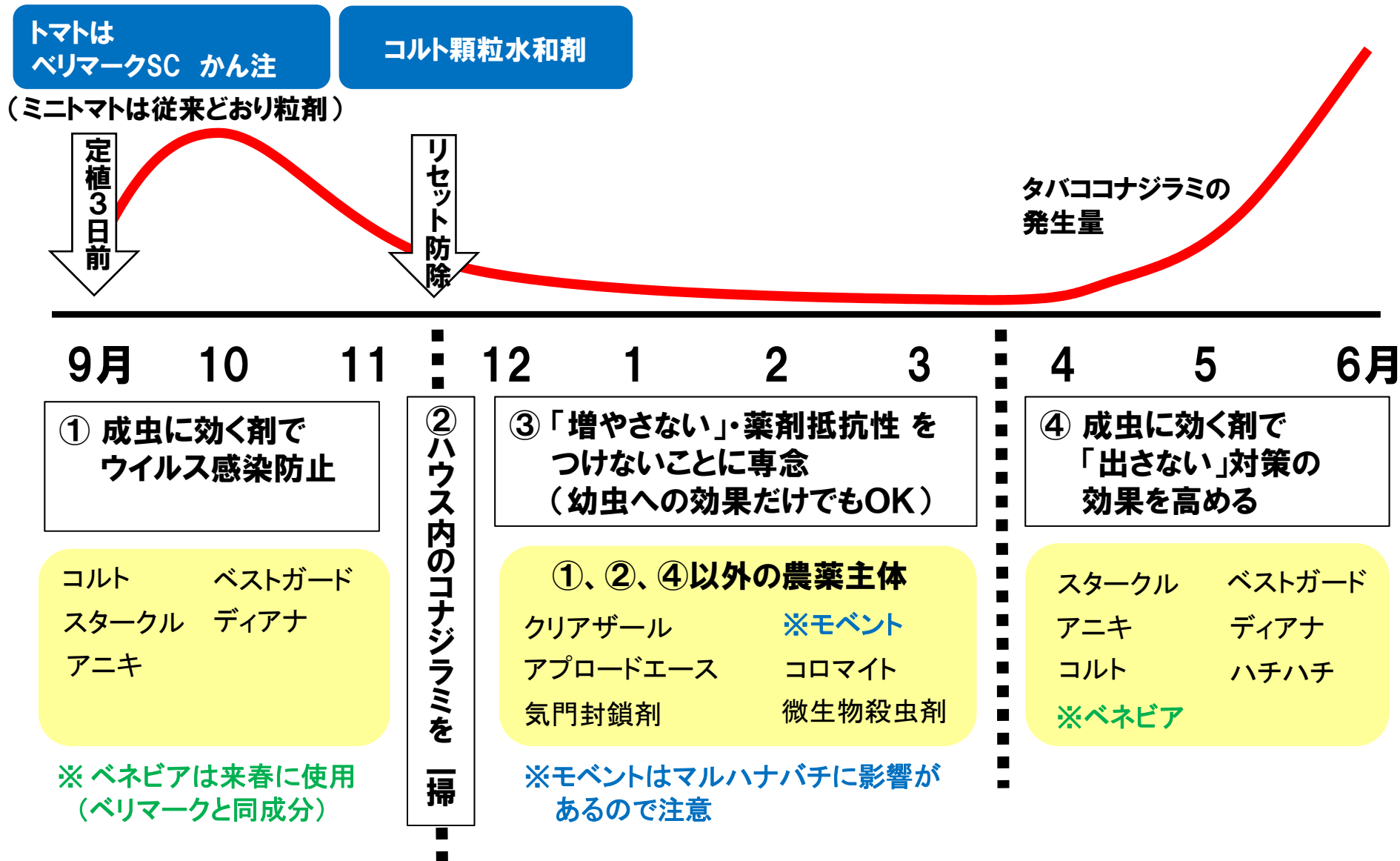
3地点調査の平均値

1地点当たり50株の上位葉および中位葉各1枚を調査

問い合わせ先
 熊本県病害虫防除所
 (生産環境研究所)
 TEL 096-248-6490
 児玉

【別紙】

トマト黄化葉巻病対策のための効果的な薬剤使用法



(注意: 農薬使用にあたっては、使用方法、使用時期、総使用回数等を厳守する。)